

指導助言者に愛知教育大学教授 中野真志先生をお迎えして、授業研究会を行いました。

## 1. 研究協議について

### 低学年グループ

- 豊かな質の高い体験（地域に出かけ、お店を見学したり、インタビューしたりしたこと）を行うことにより、児童の学習への意欲の高さを感じた。
- 児童の表現力の豊かさを感じた。児童がのびのびと自分の思いを表現していた。日頃の学習での細やかな指導がうかがわれる。
- △振り返りでは、児童の思いがたくさんあったが、時間の確保が難しかった。

#### 児童の思考に沿った授業づくりについてもっと追究したいこと

- ・児童の目的意識やねらいをはっきりさせる。
- ・ねらいをぶれずに、子どもの活躍（思考・活動）の場を保障する。



### 中学年グループ

- お店に行って買い物をするという豊かな体験活動をもとに学習を展開することで、児童の意欲が高まった学習展開となった。
- グループ構成、ワークシートに工夫があり、効果的だった。
- △思いがいっぱいの児童の様子から、ポイントをしぼることの大切さを感じた。

#### 児童の思考に沿った授業づくりについてもっと追究したいこと

- ・ポイントをしぼる教師の関わり。
- ・写真の有効活用。・子どもの思いと教師の計画。
- ・グループ活動の工夫



## 2. 中野先生の指導助言

### 1 カリキュラムデザインについて

目指すべき子ども像をしっかりと。課題を見つける力を育てる  
その上で、柔軟なカリキュラムづくりを行ってほしい。

### 2 地域とのかかわりについて

学校の一方通行ではなく、双方向で行っていくことが大切である。また、教材の共有化を図り、データは保存しておくといい。

### 3 評価について

子どもの実態を見取り、育成したい力を設定することが大事である。  
本グループでは、育成したい力の3つをバランス良くおさえている。

## 第2回 授業研究会 (H28. 6. 29)

☆第3学年 はばたき学習 (総合的な学習の時間)

単元名 「醇風何でも調べ隊 醇風のお店をてってい調査！」

めあて：友だちが行きたくなるようなおすすめポイントをしようかいし合おう。

行ったお店のPRが  
したくなった人？



「そうかあん」には  
おかしコンテストで  
受賞した人がいま  
す。

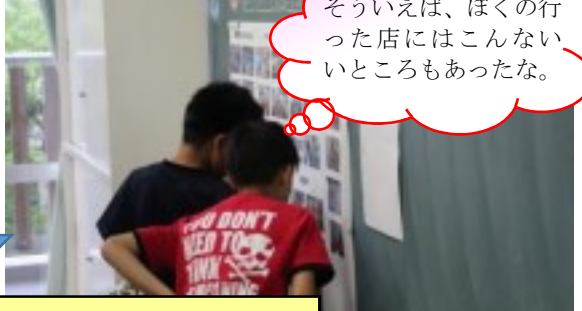


3つのおすすめポイント  
はどれにしようかな？

自分の体験を振り返り、課題を確認する。



そういえば、ぼくの行  
った店にはこんない  
いところもあったな。



おすすめポイ  
ントはお店の  
人が優しいと  
ころです。

買い物をしてみつけた、おすすめポイントを書く。(個人)

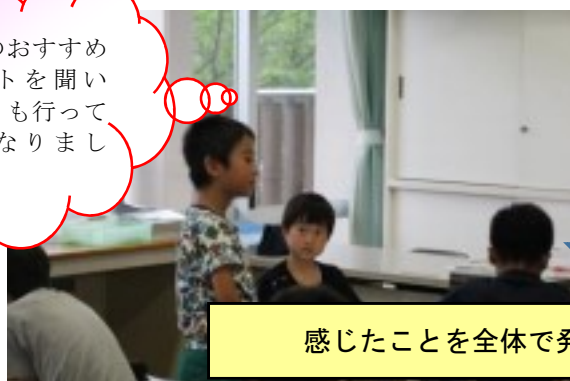


このおすすめポイ  
ントいいね。行き  
たくなったよ。



お店のおすすめポイントを伝え、行きたくなったポイントにシールを貼る。(グループ)

友だちのおすすめ  
ポイントを聞いて、ぼくも行って  
みたくなりました。



次は、友だちが行きた  
くなるようなPRを考  
えていきましょう。



感じたことを全体で発表し、本時のまとめをする。